

裏年と高温障害で収穫減



万代渋川店のミカン売り場＝24日、大阪府東大阪市

ミカン価格35%高 前年比

ミカンの価格が高騰している。1月の販売価格は前年の同時期と比べ35%上昇した。高温の影響で主要産地の収穫量が減り、今後も供給不足が続く見通しだ。冬場の身近な果物であるミカンの値上がりに、買い物客やスーパーは困惑している。

「あまりの高さにびっくりした」。大阪府東大阪市のスーパー、万代渋川店を24日に訪れた50代主婦はミカンの値上がりに驚いていた。70代の女性は「買うのを諦めた。最近では果物やお菓子は後回しで、ご飯の材料を優先している」。農林水産省の食品価格動向調査によると、1月14日のミカン1キ当たりの販売価格は969円。2024年1月8～10日の71

9円に比べて35%値上がりした。万代は1袋当たりの個数を減らしたり、ばら売りしたりして、買いやすいよう工夫を凝らす。それでも対応には限界があり、西村昌也農産部長は「ミカンは庶民の食べ物。利幅も抑えて手が届くようにしているが、厳しい状況だ」と説明する。

全国有数のミカン産地、愛媛県宇和島市玉津地区で47年間営農している中島利昌さん(64)は「収穫量は例年に比べ4割ほど減った」と嘆く。

不作の要因は1年を通じた高温という。昨年5月は気温上昇の影響で花が咲き過ぎた。ミカンの木は養分が均等に行き渡るよう調整するため、不要な花を自然に落とす性質がある。中島さんは「高温だと必要以上に落花する傾向にある」と言い、実が減ってしまった。さらに夏場の猛暑で実が日焼けしてかたくなり、成長が妨げられた。

ミカンは収穫量が増える「表年」と減る「裏年」が交互にある。中島さんは「今季は裏年だった上に、悪い気象条件が重なった。来季は取り返したいと話した」。

2025年1月26日付4面

むずかしい漢字とことば

高騰(こう・とう)＝物価などが高く上がること。販売(はん・ばい) 上昇(じょう・しょう) 影響(えい・きょう) 収穫(しゅう・かく) 供給(きょう・きゅう) 値上(ね・あ)がり 困惑(こん・わく) 訪(おとず)れ 驚(おどろ)いて 諦(あきら)め お菓子(か・し) 優先(ゆう・せん) 袋(ふくろ) 工夫(く・ふう)を凝(こ)らす＝あれこれと工夫を重ねて、良い方法や手段を見出すこと。庶民(しょ・みん) 利幅(り・はば)＝もうけの程度。抑(おさ)え 届(とど)く 蔽(きび)しい 状況(じょう・きょう) 宇和島(う・わ・じま) 割(わり) 嘆(なげ)く 咲(さ)き 渡(わた)る 傾向(けい・こう) 猛暑(もう・しょ) 妨(さまた)げ 裏年(うら・どし) 交互(こう・ご)

【問1】 ミカンの価格が高騰しています。前年の同時期と比べてどれくらい上がったのでしょうか。

【問2】 収穫量が減ったのは、何の影響でしょう。

【問3】 東大阪市のスーパー万代は、どんな工夫をしているでしょう。

【問4】 ミカンの木は養分が均等に行き渡るよう調整するために、どんな性質があるのでしょうか。

【考えてみよう】 身近な地域のスーパーで、野菜や果物の値段について調べてみよう。

